

6460

セガサミーホールディングス

(注)セガサミーグループ主要7社(セガサミーホールディングス、セガ(2012年に分社化したセガエンタテインメント、セガネットワークスを含む)、サミー、セガトイズ、トムス・エンタテインメント、サミーネットワークス、フェニックスリゾート)のデータ

【本社】 105-0021 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル 【TEL】 03-6215-9955

【設立】 2004.10 【上場】 2004.10 【決算期】 3月
【特色】 傘下にパチスロ大手サミー、ゲームソフトやアミューズメント機器・施設運営で大手のセガ

CSR評価

人材活用 AA 環境 A 企業統治 AA 社会性 AA

財務評価

成長性 A 収益性 AA 安全性 AA 規模 AAA

CSR全般

CSRの基本的取り組み

【活動のマテリアリティ設定】 有
セガサミーグループCSR推進方針(2012年度設定):①事業を通じ世の中に夢と感動を与える ②社会貢献 ③環境対応 ④コーポレート・ガバナンス+経済的責任

【方針の文書化】 有
(注)「セガサミーグループCSRレポート」をWeb掲載。グループ経営理念、グループCSR憲章、グループ行動規範、グループマネジメントポリシー(2014年度制定)、CSR推進方針を公開している。またグループ内イントラネットにも常時掲載している

【活動の掲載】 CSRレポートはWebにて掲載。CSRレポートダイジェスト(社員向け)を冊子にて発行し全社員に配付

【第三者の関与】 有 【英文の報告書】 有
【統合報告書】 検討中。まずは年次報告書の非財務情報の充実を行っている

【ステークホルダー・エンゲージメント】 有 内容報告:行っている
①サプライヤーミーティングを定期的に開催し意見交換(セガ) ②半期に1回、決算説明会を実施し、四半期決算に関しては、テレフォンカンファレンスを行っている。またIRフェアに参加し、個人投資家との意見交換も積極的に行っている(セガサミーホールディングス) ③各ステークホルダーと常時コミュニケーションをとり、健全かつ友好的な関係を作っている

【汚職・贈収賄防止】 方針有
セガサミーグループ行動規範に、ステークホルダーごとに分けて方針を記載。顧客:「適正な取引関係」、取引先:「公正な関係」「公平な選定」「接待・贈答」「個人情報」、株主投資家:「インサイダー取引」等

【ISO26000】 活用
【CSR部署】 (専任)グループCSR推進室(セガサミーホールディングス)
(注)傘下事業会社には兼任部署を設置している

【CSR担当役員】 兼任有(執行役員グループCSR推進室長)
【同・CSR業務比率】 半分以上
(注)担当役員の職域は、グループCSR推進室、グループ内部統制推進室、内部監査室

【NPO・NGO連携】 有(主な連携先:日本NPOセンター、ファミリーハウス、国際協力NGOセンター、シャンティ国際ボランティア協会、公益財団法人ケア・インターナショナル、公益社団法人WWF、公益社団法人企業メセナ協議会、公益社団法人日本フロンソービエ協会等)
①本業を活用した連携として例年、日本NPOセンターを通じてセガトイズの玩具を非営利団体に寄贈並びに協働(寄贈した玩具の除菌活動を毎月行っている) ②シャンティ国際ボランティア協会の「絵本を届ける運動」にグループ会社全体で参加

【CSR関連基準】 国連グローバル・コンパクト、GRIガイドライン、ISO26000、国内業界団体基準(社)日本アミューズメントマシン協会、(社)日本電動式遊技機工業協同組合(いずれも理事長を、代表取締役会長兼社長が務め、それぞれの業界を牽引している)、国際業界団体基準(Entertainment Software Association、GamesAid)
(注)業界団体の行動基準に関しては、事業会社や国(地域)ごとに業界団体は異なるので、各社、各国ごとに加盟

ESG・SRI

【ESG情報の開示】 開示
【機関投資家・ESG調査機関等との対話】 行っている
【SRI、エコファンド等】 ①三井住友TAM「SRI-ジャパンオープン(グッドカンパニー)」 ②DIAMアセットマネジメント「DIAM SRI-マザーファンド」 ③三菱UFJ投信「SRIファンド(ファミリーフレンドリー)」

CSR調達

【CSR調達の実施】 事業内容によって子会社ごとに実施
【調達方針、労働方針、監査方針等の基準】 セガ:「セガ アミューズメント機器製品含有化学物質管理基準」を新たに制定、取引会社とのWebページに明示している
【CSR調達に関する調達先監査・評価】 事業内容によって子会社ごとに実施
【CSR調達の具体的な取り組み】 ①セガ:「セガAM機器製品含有化学物質管理基準」を新たに制定。取引会社に公開し、コンプライアンス、品質、安全性、信頼性、環境保全、情報セキュリティ、労働安全衛生に配慮した取引を実施 ②サミー:「購買外注管理規程」「取引先工場管理規程」等各種規程に従って、清廉性、経済性、安全・品質、保守、技術、環境に配慮した取引先の評価・選定を行っている。新規取引先に関しては、社長名による書面「清廉性について」を、管理職から取引先に説明

を行っている ③事業会社各社:新規取引先申請時、取引先の状況評価を行い選定
【紛争鉱物の対応】 検討中

他CSRの取り組み等

【BOPビジネスの取り組み】 行っていない
【BOPビジネスの位置づけ】 将来のビジネスチャンス
【コミュニティ投資の取り組み】 行っていない
【プロボノ支援の取り組み】 行っていない
【海外でのCSR活動】 セガ(欧州):社員が、サイクロン(自転車で長距離を走り、寄付金とする活動)に継続的に参加
【CSR関連・表彰歴】

(12年度)①日経アニュアルレポートアワード佳作(セガサミーホールディングス) ②日興アニュアル2012年全上場企業ホームページ充実度ランキング調査総合ランキング優秀賞(セガサミーホールディングス) ③日本おもちゃ大賞2部門優秀賞(セガトイズ)
(13年度)①日経アニュアルレポートアワード入賞(セガサミーホールディングス) ②大和インベストメント・インターナショナルIR優秀賞(セガサミーホールディングス) ③日本おもちゃ大賞4部門優秀賞(セガトイズ)

ガバナンス・法令順守・内部統制

取締役

【人数】 9人 【代表者数】 2人 【女性役員】 0人
【社外取締役】 2人

監査役

【人数】 4人 【社外監査役】 3人

株主

【株式数】 266,229千株 【株主総数】 89,771人
【特定株比率】 42.9% 【浮動株比率】 10.6%
【所有者状況】 政府・地方公共団体 0.00%、金融機関 15.53%、金融商品取引業者 1.81%、他法人 11.60%、外国法人等 32.92%、個人他 38.14%

企業倫理

【方針の文書化・公開】 文書化・公開
【社員の行動規定】 有
(注)セガサミーグループCSR憲章、行動規範がグループ全体を網羅。また、2014年度「セガサミーグループ・マネジメントポリシー(方針)」として人材、環境、労働安全衛生、リスクマネジメント、IR・広報、情報管理、ITセキュリティ、個人情報保護、海外贈収賄禁止のポリシーを制定し、社員の倫理行動の強化を図っている

法令順守

【部署】 (専任)管理本部法務部とグループ内部統制室(セガサミーホールディングス)
(注)各事業会社にも、それぞれ専任部署あり

IR

【部署】 (専任)グループ代表室IR部(セガサミーホールディングス)

内部通報・告発への対応

【内部通報・告発窓口】
社内: 設置済み
社外: 設置済み
【通報・告発者の権利保護規定】 制定済み
【公益通報者保護法ガイドライン】 参考にしてている

【通報・告発】
12年度 13年度
件数 — —
(件数は非開示)

(注)内部通報制度:セガサミーホールディングス並びにグループ各社と社外の法律事務所にて通報窓口を設置

法令等に関わる事件等

(件数)11年度 12年度 13年度
公取など関係官庁からの排除勧告 0 0 0
不祥事などによる操業・営業停止 0 0 0
コンプライアンスに関わる事件・事故で刑事告発 0 0 0

内部統制への取り組み

【委員会】 設置済み
【内部監査部門】 有
【内部統制の評価】 有効(2014年3月)
【CIO】 同様の役割を取締役が担っている
【CFO】 同様の役割を取締役が担っている
【情報セキュリティポリシー】 策定済み
【情報セキュリティ監査】 内部:不定期 外部:不定期
【ISMS】 無
【プライバシー・ポリシー】 制定済み
(注)グループ内部統制室が各事業会社の内部統制を統括している

リスクマネジメント等への取り組み

【体制】 有
【基本方針】 有
【対応マニュアル】 有
【責任者】 代表者に準ずる取締役
【BCM構築】 今後予定
【BCP策定】 今後予定
【BCP想定】 地震/水害/感染症大流行
【取り組み状況】 各事業会社にて、危機管理規程を策定し、事業体に合ったマネジメントを行っている。セガサミーホールディングスでは、重要事項に関し、関連部署の専

門的意見を交えて網羅的なリスクチェックを行い、総合的な検討を行う。その上でグループ役員連絡会、取締役会において審議を行い、リスクや効果について検証する体制を構築。財務リスクに関しては、J-SOXの枠組みに基づき、識別、分析された不正、誤謬リスクとその対応(コントロール)の有効性についてセガサミーホールディングスグループ内部統制室が評価している

雇用・人材活用

基礎データ

【従業員】	合計	男	女
従業員数(人)	12年度 103	91	12
平均年齢(歳)	12年度 38.9	39.2	37.1
勤続年数(年)	12年度 4.3	4.2	5.5
平均年間給与(円)	12年度 9,137,867	13年度 8,907,499	119
臨時雇用者数(人)	12年度 9	13年度 4	5
連結従業員数(人)	12年度 7,008	13年度 7,472	55
外国人従業員数(人)	12年度 47	13年度 55	1,011
連結外国人従業員数(人)	12年度 1,285	13年度 1,011	

(注)12年度・13年度(従業員数、平均年齢、勤続年数、平均年間給与、臨時雇用者数はセガサミーホールディングス単体データ。連結従業員数はセガサミーグループ全社データ。外国人従業員数と連結外国人従業員数は主要7社データ)

【年齢別】(人)	合計	男	女
30歳未満	27	26	1
30～39歳	38	28	10
40～49歳	40	37	3
50～59歳	12	12	0
60歳以上	2	1	1

【新卒採用】	合計	大卒男	大卒女	短・専門	高卒	他
13年4月入社	141	92	70	22	15	34
14年4月入社	111	91	70	21	15	5

【中途採用】	合計	大卒男	大卒女	他男	他女
12.4～13.3	175	108	89	19	52
13.4～14.3	126	84	73	11	31

【離職者数】	合計	早期	自己	会社	転籍	他
男	291	6	120	0	162	3
女	68	0	39	0	29	0
男女計	359	6	159	0	191	3

2013年4月～2014年3月
(注)入社後就任による離職者を含む

【新卒入社者の定着状況】	男(人)	女(人)
2011年4月新卒入社者	49	21
うち2014年4月在籍者	39	19

(注)転籍による退職者を含む

多様な人材活用

【役職登用状況】	女(人)	男(人)	女性比率(%)	外国人(人)
管理職	41	846	4.6	1
うち部長職以上	11	234	4.5	1
役員	0	76	0.0	0
うち執行役員	0	37	0.0	0

2014年3月現在

【多様な人材登用推進の専任部署】 無

【退職した社員の再雇用制度】 無

【65歳までの雇用】 傘下事業会社によって異なる。セガサミーホールディングス、セガ、サミーは全員雇用

【LGBTへの対応】 基本方針：現時点では問題の発生がないため議題に挙がっていないが、差別をしていない

【LGBTへの取り組み】 現時点では行っていないが、差別をしていない

【推進のための基本理念】 ①セガサミーグループ行動規範に、「人種、信条、性別、年齢、障害、学歴、門地等を理由とした雇用機会や待遇の均等を損ねる行為は行わない」旨を明記 ②2014年度に新設した「セガサミーグループ人財に関する方針」に、「多様性の推進」を明記

【経営方針・トップコミットメント】 ①セガサミーグループ行動規範に、「人種、信条、性別、年齢、障害、学歴、門地等を理由とした雇用機会や待遇の均等を損ねる行為は行わない」旨を明記 ②2014年度に新設した「セガサミーグループ人財に関する方針」に、「多様性の推進」を明記

人権・労働問題

【人権尊重・差別禁止の方針】 有

【人権デュエーション】 行っている

【人権尊重・差別禁止等の取り組み】 ①セガサミーグループ行動規範にて「人権の尊重」「差別の禁止」を謳い、公開、実施 ②2013年度に新設した「セガサミーグループ人財に関する方針」にて「社員の人権の尊重」「求人・雇用における差別をなくす」ことを明記し、公開、実施

【ILO中核的労働基準】 尊重している

結社の自由及び団体交渉権、強制労働の禁止、児童労働の実効的な廃止、雇用及び職業における差別の排除

障害者雇用

【障害者雇用】	11年度	12年度	13年度
実人数(人)	128	115	124

障害者雇用率(%)	1.69	1.48	1.70
【障害者雇用率の目標】 2.0%			
【特例子会社】 特例子会社設立の検討を始めている			
【障害者雇用の取り組み】 ①セガは各部門に障害者職業生活相談員を配置。定期的な面談を実施し障害者個々人が働きやすい職場環境を整備。ハード面でのバックアップ体制を整備し、障害者に対する社内意識の向上にも努力 ②サミーは合同面接会参加・人材紹介会社からの紹介を通じ、採用を拡大、継続している ③フェニックスグループは法定雇用率を超えているがさらなる上積み雇用を目指している			

人事・評価制度

【能力・業績評価基準】 公開
【能力・評価結果】 従業員本人に公開
【従業員の満足度調査】 事業内容によって子会社ごとを実施
【海外等での人事・評価制度】 海外に事業所のある会社は、事業所別で運用(セガ、セガトイズ、トムス・エンタテインメント)

ワーク・ライフ・バランス

【産児・育児】
産児休暇 産前6週間・産後8週間 健康保険組合より月収の3分の2を支給
配偶者の出産休暇制度 有(5日)
育児休業(最長) 子が1歳6カ月を達した日以降最初に到来する4月の保育所入所日まで(最大2年6カ月)

	11年度	12年度	13年度
産児取得者数(人)	29	40	55
育児取得者数(人)	46	49	65
うち男(人)	6	1	4
(1週間以内(人))	—	1	1
育児休業後復職率(%)	87.8	91.8	80.0

【産休・育休取得の取り組み】 産休、育休入り前後、復帰前後に面談を行い、スムーズな職場復帰を実現している。HelloBaby休暇制度(配偶者の出産休暇は、特別休暇+有給連続休暇にて最長5日間休暇可(サミー))

【看護・介護】

看護休暇(最大) ①トムス・エンタテインメント:日数は法定どおりで有給 ②セガサミーホールディングス、サミー:日数は法定どおりだが、育児休暇、看護休暇において、積み立て有給休暇を保有の場合、充当することが可

介護休暇(最大) 積み立て有給休暇を保有の場合、充当することが可(セガサミーホールディングス、サミー)

介護休業(最長) 営業日ベースで通算93日間まで取得可(セガサミーホールディングス、セガ、サミー)

	11年度	12年度	13年度
介護休業取得者数(人)	0	0	0

【3歳～就学前の子を持つ社員利用可能制度】 短時間勤務制度/始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ/所定外労働をさせない制度/育児サービス費用を補助する制度/①福利厚生サービスでの育児補助(セガサミーホールディングス、サミー) ②出張の免除(サミー)

【特筆すべき両立支援制度】 ①セガ:社員同士が情報交換できる「子育て広場掲示板」の開設、休業中社内イントラネット閲覧を可能にし、スムーズな職場復帰を実現、高校卒業まで子ども手当を支給 ②サミー:HelloBaby休暇制度(配偶者の出産休暇は、特別休暇+有給連続休暇にて最長5日間休暇可)、育児短時間勤務制度における対象範囲を小学校3年生までに拡大、リラックス・ホリデー制度(心身のリフレッシュと健康の維持・増進と働きやすい職場環境整備のための休暇) ③セガトイズ:中学卒業まで子ども手当を支給

賃金・休暇・諸制度

【30歳平均賃金】 一円

【残業時間】 23.0時間/月

【残業手当】 49,277円/月

【有給休暇】	付与日数	取得日数	取得率(%)
11年度	17.5	7.4	42.3
12年度	17.2	7.5	43.7
13年度	17.3	7.8	45.3

【ボランティア休暇・休職】

	11年度	12年度	13年度
ボランティア休暇	有 131	93	50
同休職	無 —	—	—
青年海外協力隊	無 —	—	—
マッチング・ギフト	無 —	—	—

(注)東日本大震災の特別措置として、震災ボランティアの参加費はセガサミーホールディングスの全額費用負担にて実施

【勤務柔軟化への諸制度】 フレックスタイム制度(事業内容に応じて、子会社ごとに導入)/短時間勤務制度(妊娠中、育児、介護における短時間勤務(最大2時間短縮)や時差勤務等)/半日単位の有給休暇制度(半日を4時間として有給休暇可能)/サテライトオフィス(ほか事業所勤務者が滞在中に働くことができるサテライトオフィスを本社に設置(セガ))/保育設備・手当(高校卒業まで子ども手当を支給(セガ)、中学卒業まで子ども手当を支給(セガトイズ))/ワークシェアリング(SKETTO制度(登録型スタッフ制度):常勤不可で、短時間勤務・短時間勤務であれば働ける人と、業務内容をマッチングさせ(例えば外国語能力がある人を国際イベント時に雇用する等)登録スタッフに声掛けする制度(フェニックスグループ)/裁量労働制(⑩10:00～19:00を標準時間とするが、始業・終業時刻は従業員に委ねる(セガ) ②製作部門の対象者に専門業務型裁量労働制を導入(トムス・エンタテインメント))/プランニングタイム制度(1か月中で計画的に1日の就業時間を弾力的に変動させる(セガ))/セレクトタイム制度(1日の就業時間を変えずに業務に合わせて始業時間をスライドさせる(セガ))

【インセンティブ向上への諸制度】 資格・技能検定の取得奨励制度(資格取得補助金、資格取得時一時金、資格保有手当、資格保持費用の会社負担等、各社にて諸制度あり)／社内公募制度(会社が必要とするポストや職種要件を社員に公開し募集(セガ、トムス、エンタテインメント)。管理職ポストの公募制度あり(フェニックスリゾート))／国内留学制度(社員の育成を目的に社会人大学に通うことができる制度あり。費用の一部を会社が負担(日本マルチメディアサービス))／特別な成果に対する表彰・報奨制度(①セガ:業績貢献した商品、個人に対し表彰金を支給・事業計画達成の有無に応じてインセンティブを支給 ②サミー:社長賞等業績に多大な貢献をした社員を表彰 ③セガトイズ:人事評価に基づく特別表彰制度 ④トムス・エンタテインメント:年1回業績貢献表彰 ⑤サミーネットワークス:四半期ごとにチャレンジ賞・MVP賞、年1回社長賞 ⑥フェニックスリゾート:毎月3部門の表彰者を決め、四半期ごとにリーダー賞を表彰)／キャリアアップ支援制度(セルフスキルアップ制度:専門職者に対し自己啓発にかかる費用を会社が負担(サミー)、資格取得時の費用、資格保持費用を会社が負担(フェニックスリゾート))／ストックオプション制度(都度、対象範囲を決定し付与)／持株会制度(会社より拠出金の5%を奨励金として補助(セガサミーグループ))／社員貸付金制度(生活上に必要とする資金を低利貸し付け(セガ、サミー、トムス・エンタテインメント、サミーネットワークス等))／長期収入サポート制度(ケガや病気等働けなくなった際の所得補償制度(セガサミーホールディングス、サミー))

労働安全衛生

【生産部門等】 有

【労働安全衛生マネジメントシステムの構築】 有

【主な取り組み】 ①健康診断、人間ドック受診、労働安全衛生委員会、産業医面談のほか、社内イントラネットに労働安全衛生情報を掲載し共有化(セガ、サミー、トムス・エンタテインメント) ②健康専門相談窓口、看護師の常駐、健康管理センター設置(セガ) ③リラックスホリデー制度:最大3日間の連続休暇 ④ストレス診断ツールと外部カウンセリング(セガサミーホールディングス、サミー)等あり

【労働災害】	11年度	12年度	13年度
労働災害率	—	—	—
【メンタルヘルス】	11年度	12年度	13年度
休職者数	—	—	—

(注)生産部門は、サミーの工場のみ

【メンタルヘルスの取り組み】 ①産業医面談あり(全社) ②Webのストレス診断ツールと対応方法学習システムあり ③外部専門組織のメンタル相談窓口を設け、本人と家族による相談を年中無休で受け付けている(一部の会社)

消費者・取引先対応

【対応部署】 (専任)各事業会社に設置。名称は、戦略企画開発室、カスタマーサービス部等
(注)グループ会社の顧客相談を専門に扱う傘下会社「日本マルチメディアサービス」あり。各事業会社にそれぞれ専任部署があり、日本マルチメディアサービスと連携して対応を行っている

【商品等の安全性に関する部署】 (専任)各事業会社に設置。名称は、品質保証部等

【クレーム対応】 (マニュアル)有 (DB)有

【体制は、事業会社各社ごとに顧客(消費者・取引先)対応部署を置いている。各社にて対応マニュアル、データベースを作成。またグループ内に、顧客相談を専門とする日本マルチメディアサービス社を設置し、顧客からの相談を一括して受け、各社と連携している

【その他の品質管理】 有

①セガ:製品安全に関し自主基準を設け、品質保証にかかわる工程管理をシステム化している。海外においては各地域に合った品質保証体制を構築している ②サミー:JIS規格を基に独自の試験項目を定め、開発段階、量産段階において評価試験を行い不良率の低減を実施。また不適合品ゼロへの取り組みを、調達先とともにを行い、改善指導等を行っている ③セガトイズ:ST基準を基に、独自に品質管理規定・設計仕様基準を設定している

社会貢献

組織と支出

【担当部署】 (専任)グループCSR推進室(セガサミーホールディングス)

(注)各事業会社には、兼任にて社会貢献担当部あり

【社会貢献活動支出額】 (単位:100万円)

	11年度	12年度	13年度
総額	180	302	482
うち寄付金	62	42	228
マッチングギフト	0	0	0
うちその他	118	260	211

(注)一部の協賛金、ボランティア活動費、海外子会社の活動費は含まず

事業事例

【地域社会参加】 ①サミー:本社の地元である豊島区社会福祉協議会と連携し高齢者にシニアルームを無料開放し社員と一緒に遊ぶイベントを約月1回のペースで継続。すでに180回を超える。また川越新工場建設に際し「企業市民として地域との共生を目的としての活動」を実施。一例として小江戸川越マラソン協賛と社員による給水ボランティアを実施し、フェニックスリゾート:調理師が調理専門学校にて講師を務める。接遇スペシャリストが、県立芸術劇場等で接遇教育を行う。エンジニアが、労働基準協会からの依頼で、ポイラー実技や座学等の講師を務める。宮崎県内2市3町と包括的連携協定を締結し、地元の実材・商品等の商品造成・販売を実施等、自治体、民間を問わず、同社の持つ知識、ノウハウ、施設を、会社、宮崎市に提供し貢献している

【教育・学術支援】 セガサミーホールディングス:傘下会社のゴルフ場のある千歳市において小・中学生を対象としたジュニアスポーツフェスティバルを開催。また、セガサミー野球部練習場がある八王子市にて野球部員が児童養護施設にて野球を教える

等の慰問活動を実施

【文化・芸術・スポーツ】 ①セガサミーホールディングス:スポーツ活動では、セガサミー野球部による少年野球教室の実施、障害者クロスカントリー日本チーム支援。文化活動では、公益社団法人シヤンティ国際ボランティア会(「絵本を届ける運動」)に参加。芸術活動では、東京JAZZの特別協賛 ②サミー:ジェフユナイテッド千葉オフィシャルスポンサー、モーグルスキーヤーやプロゴルファーのスポンサー

【国際文化交流】 セガサミーホールディングス:世界70カ国以上で人道支援を行う「公益財団法人ケア・インターナショナルジャパン」への継続支援

【東日本大震災復興支援】 行っている

【復興支援の具体例】 社員ボランティアとして、被災地整備、仮設住宅者とのコミュニケーション等を行っている。また、エンタテインメント企業群として被災地におけるイベントや地元祭りへ、社員がアミューズメントゲームや玩具等を持参し、楽しを提供している

環境

組織と情報開示

【担当部署】 (兼任)グループCSR推進室(セガサミーホールディングス)

(注)事業会社では事業内容によって部署単位で担当している

【担当役員】 兼任有(執行役員グループCSR推進室長)

【同・環境業務比率】 半分以上

(注)執行役員の担当職域は、グループ内部統制室、グループCSR推進室、内部監査室

【方針の文書化】 有 【HP上の公開】 有

(注)グループ行動規範のほか、2013年度新設のセガサミーグループマネジメントポリシーの「環境に関する方針」において、基本方針を定め、取り組み事項並びに説明責任を明確にしている

【環境会計】 無

パフォーマンス

【環境負荷量】	12年度	13年度
総エネルギー投入量(GJ)	2,120,220	2,262,137
特定管理対象物質投入量(t)	0	0
水資源投入量(m ³)	—	1,377,158
温室効果ガス排出量(t-CO ₂ e)	103,765	109,866
特定化学物質排出量・移動量(t)	0	0
廃棄物等総排出量(t)	3,233	2,637

【環境保全対策に伴う経済効果(実質効果)】 (単位:100万円)

	12年度	13年度
収益額(リサイクル等)	0	1
合計	0	1

(注)①集計対象変更のため約20店のアミューズメント施設分増加している ②環境パフォーマンスは、床面積による推計値を含んでいる ③水資源投入量は、2013年度より本格的に主要7社のデータを集計 ④NO_x、SO_xは、フェニックスリゾート等ポイラーにて微量排出が判明 ⑤環境保全対策に伴う経済効果は、サミーのデータの一部分のみ

【スコープ3】 未集計

管理体制

【環境監査】 不定期に実施

(注)内部監査に環境項目あり。不定期だが年に1回以上実施

【EMS構築】 EMSは構築していない

環境リスクマネジメント

【事業活動での環境汚染の危険性】 可能性無

【将来発生する可能性がある巨額費用の準備】 無

【環境影響評価(アセスメント)】 現時点では行っていない

【土壌・地下水等の把握状況】 把握していない

【水問題の認識】 特にリスクではない

環境関連法令

【国内】 ①廃棄物処理法 ②省エネルギー法

【海外】 ①RoHS指令(セガ) ②REACH規則(セガ)

【環境関連法令違反等】 (件数)

	12年度	13年度
環境関連法令違反	無	無
環境問題を引き起こす事故・汚染	無	無
環境問題に関する苦情	無	無

その他環境関連指標・取り組み

【グリーン購入】 自社独自指針にのっとり実施

(注)事業会社各社の業態状況に合わせてグリーン購入を実施。セガは、紙製品、OA、PCサプライ、筆記具・ファイル等、文具事務用品。サミーはコピー用紙のみ。セガトイズは事務機材のグリーン購入を実施している

【事務用品等のグリーン購入】

	12年度	13年度
比率(%)	69.2	89.2
対象:事務所(セガ)		

(注)紙製品、OA、PCサプライ、筆記具・ファイル等、文具事務用品

【原材料調達】

グリーン調達:部分的なガイドラインを定め実施

取引先対応:取引先等へ指導/取引先等の評価

具体例:①環境影響を考えグリーン調達を実施。具体的には「鉛フリーはんだ」「森林認証材の採用」「水系接着剤の使用」を行っている(サミー) ②取引先に関する各種規程に環境配慮項目があり監査を実施し、取引先の評価、選定を行っている(サミー) ③「セガアミューズメント機器、製品含有化学物質管理基準」を2013年5月に制定し、取引先とのWebで常時公開。取引先に説明会や指導を行っている(セガ)

【環境ラベリング】 特になし

【環境ビジネスの取り組み】 行っていない

【容器包装削減の取り組み】 有

①玩具包装を自社基準において運送に適した形状にしている(セガトイズ) ②リターナブル容器による納品、使用済み物流資材のリサイクル(セガ) ③ストレッチフィルム削減のための梱包用バンド利用の促進、部材、ユニット品の輸送時に通い箱を利用(サミー)

【カーボンオフセット商品等の取り組み】 事業会社にて実施

環境省カーボン・オフセット認証ラベル取得。観覧車稼働に伴うCO₂排出の一部である25t-CO₂をオフセット。オフセット率54.3%(オアシスパーク)

地球環境保全への取り組み

【気候変動対応の取り組み】 行っている

【再生可能エネルギーの導入】 事業会社で導入

年間100万kWhのグリーン電力証書(①マイクロ水力 ②バイオマス)システムを購入。また横浜市風力発電事業に賛同し、Y-グリーンパートナーとして協賛している(セガ)

【CO₂排出量等削減への中期計画】 有

①建物原単位において対前年比1%削減(セガ、並びに分社化したセガエンタテインメント、セガネットワークス) ②オフィス、工場等を分けて原単位を設定。2009年4月から5年間で平均5%削減(サミー)

【生物多様性保全への取り組み】 不明

「セガの森」:長野県佐久郡南相木村との間で、民有林3,633haを対象とした森林の里親契約を10年間締結。社員並びにグループ社員とその家族が、森林整備や自然を生かした学習イベントを行いながら、環境保全を意識し行動するよう努めている(セガ及びセガサミーグループ)

【生物多様性保全プロジェクト】 (単位:100万円)

支出額	12年度	13年度
	1	1

2013年度の環境目標・実績

【CO₂排出量等削減】 ①(目標)中期計画①と同じ/②中期計画②と同じ→オフィス:0.02155、工場:0.00007556(達成)

【エネルギー削減】 (目標)運用対策と自然エネルギー利用によって対前年比マイナス8%(セガ)

【リサイクル】 ①回収アミューズメント機器の100%リサイクル(セガ)→100%(達成)/②(実績)アミューズメント機器の不正投棄防止のためのリサイクルシステムにて「埋め立てゼロ、単純焼却ゼロ」を実施(セガ)/③自社製品回収後リサイクル率(前年度98.47%)の向上(サミー)→96.6%

【廃棄物削減】 (実績)産業廃棄物の削減:7社全体で約▲18%

(注)CO₂排出量等削減①とエネルギー削減は、分社化のため、実績比較は2014年度に新たにスタートとなる。リサイクル②と廃棄物削減は、達成とみなしている

【その他具体的な取り組み】 製品・サービスにおける環境負荷削減対策:①低消費電力部品の積極的な採用(セガ、サミー)。セガにおいては、アミューズメント機器製品の省エネルギー化を年々進め、従来品より最大60.6%の節電効果のある製品を開発し市場に出している ②遊技機は資源有効利用促進法の対象製品で3Rに積極的に取り組んでいる(サミー) ③グループ間の部品のリユース(セガとサミー、セガとセガロジスティクスサービス)